

## 日本ユニシス・エクセリューションズ 3Dプリンター用スライス処理ソフト「AMmeister」Ver3 を提供開始

日本ユニシス・エクセリューションズ（以下 UEL）は、3D プリンター用スライス処理<sup>(注1)</sup> ソフトウェア「AMmeister（エーエムマイスター）」の新バージョン Ver3 を、本日から販売開始します。Ver3 では汎用フォーマットへの対応を行ったため、プリンターメーカーがインターフェースを作りこむ必要がなくなります。また、Ver2 でリリースした光造形 3D プリンター向けのサポート自動設計機能を強化し、オペレーターの負荷軽減と造形品質の向上を図りました。UEL は、今後も 3D プリンターを活用した、ものづくりや業務プロセス改革を支援します。

### 【開発の狙い】

これまで 3D プリンターメーカーが AMmeister を利用する際には、メーカーと当社の双方でスライスデータのインターフェースを作りこむ必要がありました。AMmeister Ver3 では、スライスデータの汎用フォーマット対応により、インターフェースの開発コストを掛けることなく、AMmeister を利用することができます。

また、作業負荷が高く造形品質を左右する重要な工程であるサポート形状作成についても、一層の機能強化を図りました。

### 【Ver3 の特徴】

- スライスデータの出力フォーマットを拡張  
CLI、SVG など 3D プリンター向けの標準的なスライスフォーマットに対応、さらに 3D プリンターの造形精度を高めるため、Gコード<sup>(注2)</sup> 対応を行いました。
- 光造形 3D プリンター向けサポート自動設計機能の強化  
造形品質：Ver3 では、形状を支える機能を保持しながら、不要なサポートが付かないように改良を加えました。取り外しが容易になった事に加え、サポート材の材料コスト削減を実現します。  
計算速度：従来の Ver2 と比較し、倍以上の計算速度を達成しています。  
操作性：領域指示による斜めサポート作成、モデルの配置機能、サポート作成パラメーターの保存機能などができるようになりました。
- Z 補正機能  
光が下層に透過し造形モデルが余剰成長する問題を改善するため、余剰成長を見込んだモデルの変形ができるようになりました。この機能は、STL-EDIT オプションに搭載されます。

### 【パッケージ内容と販売価格】

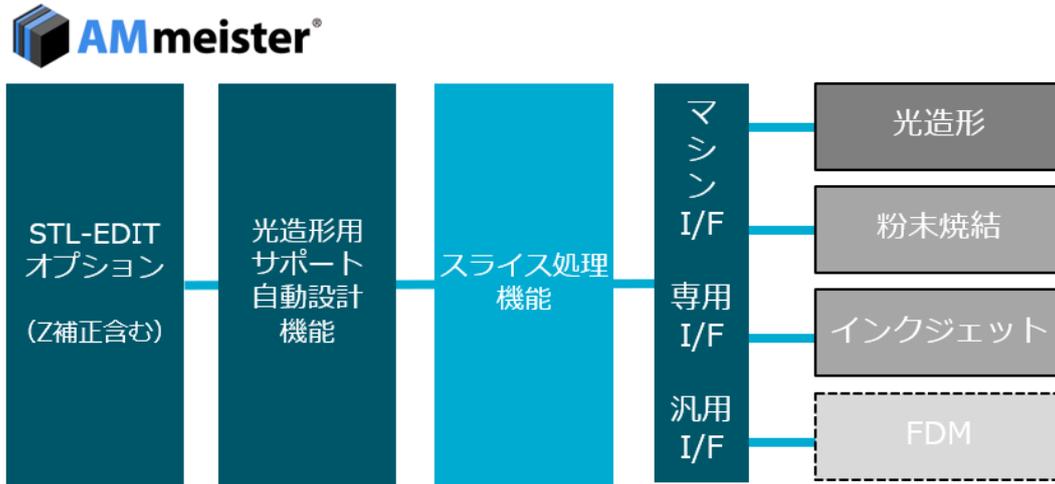
販売を開始するパッケージは以下の通りです。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1. AMmeister SLICE-PKG（スライス処理）              | ¥330,000（税込）／年額   |
| 2. AMmeister SUPPORT-PKG（光造形用サポート自動設計）      | ¥1,100,000（税込）／年額 |
| 3. AMmeister STL-EDIT-OPT（Z 補正を含む STL 編集機能） | ¥330,000（税込）／年額   |

### 【販売目標】

3D プリンターメーカー向けに、3 年間で 100 セットの販売を見込んでいます。

## <AMmeister 構成図>



### 注1：スライス処理

造形モデルのCAD/CAMデータを、3Dプリンター用に、薄く切った輪切り状のデータを作る処理のことです。スライス処理により作成されたデータを、スライスデータといいます。

### 注2：Gコード

NCプログラムのなかでも一番使われるコードで「準備機能」とも呼ばれます。Gと2ケタの数字の組み合わせで、座標の設定や主軸の回転、テーブルの駆動速度などを制御します。3Dプリンターでは、NC工作機械で使われている命令（コマンド）を拡張した3Dプリンター用のGコードが使われています。

以上

### ■関連リンク

3Dプリンター用スライス処理ソフト「AMmeister」

<https://www.excel.co.jp/polygon/am/>

※AMmeisterは、日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社の登録商標です。

※その他、記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### <お客さまお問い合わせ窓口>

電子メール：polygon@ml.excel.co.jp

### <報道関係お問い合わせ窓口>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)